



学校だより



小川小学校 ○ 考える子 ○ 優しい子 ○ 元気な子

令和3年10月12日 No.20

《人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ》

さまざまな分野で活躍する各界の“達人”をゲストに招き、その波乱万丈の人生の中で得た人生訓・人生哲学を学ぶ番組「人生で大事なことは〇〇から学んだ」が3、4年前にありました。このタイトルの言葉に関連して思い出したのは、ロバートフルガム（アメリカの作家）の「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」という本です。

この本の内容を少し紹介すると次のとおりです。

人間、どう生きるか、どのようにふるまい、どんな気持ちで日々を送ればいいのか、本当に知っていないてはならないことを、わたしは全部残らず幼稚園で教わった。人生の知恵は大学院という山のてっぺんにあるのではなく、日曜学校の砂場に埋まっていたのである。

小学校に入学すると勉強が始まり、だんだんと難しいことを学んでいきますが、生きていくために大事なことは、すでに学校に入る前に学んでいるのだということです。学校で学ぶことは役に立たないという意味ではありません。大人になっても常に振り返る基本が「幼稚園の砂場での遊びにある」と伝えているのだと思います。



大人が意図的に環境を整えなくても、なにげない遊びや、友達との関わりそのものが、学びの場であるということだと思えます。遊びの中では、トラブルやけんかもあります。危険なこともあるかもしれません。そういう場面に出会ったとき、自分で解決できるための知恵を教えていきたいものです。

また、必要な習慣は、小さなときでないとなかなか身につかないものです。なぜそうすることが必要なのかを丁寧にしっかり伝えていきたいものです。（自分の子育ての反省も込めています）

今まさに、子どもたちは、人生で大切な知恵をたくさん学んでいます。

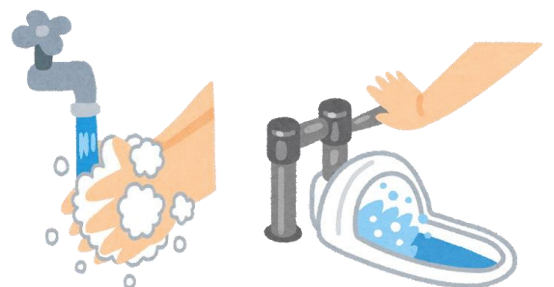
人生に必要な知恵とは・・・（ロバートフルガムの文章から抜粋）

- 何でもみんなで分け合うこと
- 人をぶたないこと
- ちらかしたら自分で後片付けをすること
- 誰かを傷つけたらごめんなさいと言うこと
- トイレに行ったらちゃんと水を流すこと
- （毎日少し勉強し、少し考え、少し絵を描き、歌い、踊り、遊び、そして少し働くこと）
- おもてに出るときは気をつけて、手をつないで、離れ離れにならないようにすること
- 不思議だな、と思う気持ちを大切にすること
- ずるをしないこと
- 使ったものは必ず元の場所に戻すこと
- 人のものに手を出さないこと
- 食事の前には手を洗うこと



ここに書かれていることができれば、うまく人と関わりながら生活でき、だれもが過ごしやすい世の中になると思えます。みんなが分かっていることですが、いつもするのはなかなか大変なことです。

また、ある会社の創業者が言われた「凡事徹底」という言葉があります。当たり前のことを徹底して続けることが大切で、少しぐらい、これぐらいはというのではなく、当たり前のことを徹底してやり抜くことが大切だということを述べています。



《運動会の練習が始まりました》

10月4日から体育館やグラウンドを使って運動会の練習が始まりました。各学年からの「学年だより」でもお伝えしていますが、汗ふきタオル、水筒などを持ってきてください。

また、運動会の練習より早く、応援の練習も始まっています。休み時間を使って赤組・青組の応援団員は練習をしています。そこで、頑張っている応援団員の紹介をします。

個人情報のため削除しております。

また、給食の時間に放送で赤組応援団長、青組応援団長から児童のみなさんにメッセージがありました。

赤組応援団長の _____ です。みんなで協力し、心をつにして全力を出しきれる赤組にしたいです。

そのためには、赤組みんなに気合いが入るよう応援団が一生懸命に声を出します。赤組のみなさん、ついてきてください。運動会を楽しく頑張りましょう。

赤組、絶対優勝するぞ！！

青組応援団長の _____ です。みんなが楽しい思い出をつくって協力し合える青組にしたいです。

そのために、応援団は大きな声で精一杯盛り上げます。また、チームワークを大切にします。青組のみなさんも元気に笑顔で一緒に応援しましょう。そして、優勝目指して頑張りましょう。

青組、絶対優勝するぞ！！

《福沢諭吉「学問のすすめ」から学ぶ その2》

○学ぶことを続けるには？

人生活発（じんせい かっぱつ）の気力（きりよく）は、物（もの）に接（せつ）せざれば生（しょう）じ難（がた）し

勉強やスポーツなど、何かを学び続けることは大変です。同じことをやっているときや、疲れて投げ出したくなる時もあります。そんなときには新しい物事に触れると良いといっています。例えば、習っている楽器の演奏が上手にならず悩んでいたなら、友だちの発表会に出かけ、刺激や元気をもらってみましょう。